

教学设计

教科書との関連：『日語』7年級下冊第5課「すみません郵便局はどこですか」8年級下冊コラム「人気旺盛の“おにぎり”」高中『日語』第2冊第4課「現金からカードへ」第3冊第7課「コンビニ」

初級中学・高級中学向け：コンビニって何？

言語学習目的：

- コンビニの資料を読んで、分かったことを書いたり、発表したり、話し合ったりできるようになる。
- コンビニについての質問に対して答えられるようになる。
- 位置や場所を表す表現を使って、発表できるようになる。

言語以外の学習目的：

- 日本のコンビニの歴史、扱われる商品、多様なサービスについて知り、コンビニ経営のシステムや戦略について理解を深める。

文型：

- ～はどこですか／どこにありますか／～にあります（7年級下冊第5課）
- ～と思います（8年級下冊第3課）、～からだと思います（8年級下冊第4課）
- 場所を表す表現（～の正面、～の近く、～の横、～のそば、～の向かい側）

使用時間：45～50分

用意するもの：模造紙／小黒板

● 事前準備

1. 授業を行う1週間ぐらい前から「今日日本」のページを教室の壁に張っておく。そして、下に示した表を参考にして「解答例」の部分を書き消したタスクシートを作成し生徒に事前に配付し、質問項目に答えられるように「今日日本」を読んでおくよう指示する。

| 質問 | 解答例 |
|------------------------|-----------------------------------|
| コンビニは何時から何時まで開いていますか。 | 24時間営業 |
| コンビニはいつ休みですか。 | 年中無休 |
| コンビニはどの国で始まりましたか。 | アメリカ合衆国 |
| コンビニではどのようなものを売っていますか。 | 食べ物、飲み物、雑誌、日用品など |
| 食べ物の中で人気があるのは何ですか。 | おにぎり |
| コンビニにはどんなサービスがありますか。 | コピー、ファックス、宅配便、チケットの予約、写真の現像、ATMなど |

ヒント

質問部分をノートに書き取らせタスクシートにしても良い。

2. 授業を始める前に、コンビニの見取り図（「今日日本」ページ参照）を模造紙（あるいは小黒板など）に書き写しておく。

ヒント

この作業は教師が自ら行ってもよいが生徒の有志に依頼してもよい。ただし、答えを見せないように気をつける。

● 授業の進め方

1. 導入

- (1) 次のような質問を投げかけ、生徒に自主的にコンビニについて理解したことを説明してもらおう。

発話例

今日はコンビニについて勉強します。みなさん、コンビニについての資料を見ましたか。コンビニについて分かったことを発表してください。

- (2) 教師は生徒の発言を板書していき、さらに補足すべき点や不明な点、

疑問点に関する生徒の発話を促す。また、必要に応じて「関連情報」を参考にして補足説明を行う。この活動はコンビニを理解することが目的なので、生徒の日本語レベルに応じて母語の使用を許可する。

ヒント

教師が生徒に一方的に紹介するのではなく、生徒が観察したこと、理解したこと、考えたことを発言させるようにする。

2. 「今日日本」について理解しているか確認する

- (1) 導入部分で、ある程度発言が出たら、次に事前に配付したタスクシートの答えの確認をする。
- (2) 高級中学の場合は学習者のレベルに応じて、以下に示した項目を参考にしてさらに難易度の高い質問を行い、コンビニの特徴について説明させる。

| | | |
|-----|---|--|
| 質問 | コンビニの始まりについて簡単に説明してください。 | 「今日日本」の“コンビニの歴史”を参照 |
| 解答例 | コンビニはもともとアメリカのテキサス州にある氷の販売店が、パンや牛乳を扱ったことから始まった。その店が、後にセブン・イレブンというコンビニの会社となった。 | |
| 質問 | コンビニでは季節と関連してどんな商品やサービスを扱いますか。 | 「今日日本」の“コンビニのさまざまなサービス”と“コンビニで感じる季節感”を参照 |
| 解答例 | お正月には年賀状やおせち料理を売ったり、夏にはお中元商品の注文を受け付けたりする。また、夏には冷やし中華やかき氷、冬にはおでんや肉まんを売っている。 | |
| 質問 | POSシステムとはどういうものですか。 | 「今日日本」の“コンビニを支えるPOSシステム”を参照 |
| 解答例 | レジで商品のバーコードを読み取ることで、「いつ・何が・何個」売れたかということをデータとして集めることができるシステム。 | |
| 質問 | コンビニでは、商品がよく売れるようにどんな工夫をしていますか。 | 「今日日本」の“売り場の秘密”を参照 |
| 解答例 | 場所によって来るお客さんが違うので、それに合わせて扱う商品を変えている。例えば、お年寄りが多く来るコンビニではお年寄りが好きな惣菜を置いたり、子供が多い場所では子供が好きなお菓子をたくさん置いたりしている。 | |

3. コンビニクイズ&ディスカッション

- 【事前準備】で用意した模造紙を黒板に張る。
- 教師が数人の生徒に対して質問し問答のモデルを見せる。

発話例

教師：お弁当、おにぎり、サンドイッチはどこにあると思いますか。
 生徒：デザートデザートの右だ右と思います。
 教師：どうですか。
 生徒：お弁当などを先に買って、それからデザートデザートを買うからだと思います。

ヒント

生徒の日本語レベルに応じて、使用する文型や場所を表す表現に注意させ、単語だけではなく文で意見が言えるように指導する。また、必要に応じて文型や表現の導入・練習を行う。

- 話し合いの仕方がわかったらグループになって話し合う。
- グループごとに答えを黒板に記入する。

| | ①お弁当 | ②飲み物 | ③雑誌 | ④ガム | ⑤コロッケ |
|-------|------|------|-----|-----|-------|
| A チーム | い | う | お | え | あ |
| B チーム | う | お | い | あ | え |

- 各グループごとに意見を発表した後で、教師が答えを説明する。

解答

- お弁当、おにぎり、サンドイッチ…い
 お弁当などは入り口の正面にあります。コンビニで一番人気がある商品なので、お客が買いやすい場所に置くとよく売れるからです。
- ジュース、お茶などの飲み物…え

飲み物はお弁当の横にあります。お弁当を買ったら一緒に飲み物を買いたくなるからです。

- 雑誌…お
 雑誌は窓の近くににあります。雑誌は表紙が店の外から見える窓の近くに置くと、店がにぎやかな印象になるからです。また、雑誌を読んでいる人が外から見えると、店の外にいる人に対して店内にお客がたくさんいるという印象を与えることができます。

- チューインガム、あめ…う
 レジの向かい側にあります。レジの近くはコンビニの中での必要な場所です。ですから、お金を払うのを待っているときに、ガムなどを買いたくなるからです。

- コロッケ、フランクフルトソーセージ…あ
 レジの横にあります。これらは店員が温めるなどの管理をするのでレジの近くにあると便利だからです。

ヒント

回答例の黒で示した部分までは初級中学の生徒が、青で示した部分は高級中学の生徒が日本語で表現できるように指導する。



高級中学向け：身近なお店にインタビューしよう

言語学習目的：

- コンビニの長所・短所について考え、発表できるようになる。
- 調査の集計結果が読み取れるようになる。
- 観察やインタビューをした結果をまとめて分かりやすく発表できるようになる。

言語以外の学習目的：

- 身近な小売業者へのインタビューを通じて売り上げを伸ばすための工夫、流通の仕組みを学び、コンビニと比較し、類似点・相違点について考える。また、地域社会の特徴、仕事の大変さ、やりがいなどを学び、働くことに対する意識を高める。

使用時間：2コマ+課外活動

用意するもの：付録「グラフで見るコンビニ」

調査の結果について一緒に勉強しましょう。皆さんの予想が合っているかどうか調査の結果を見て確かめてください。

ヒント

以上のように事前に調査の結果を予想させることによって、読解活動にスムーズに入ることができます。また読解に対する動機付けを強くすることができます。

● 事前準備

1. 導入

- 生徒に対して次のような質問を投げかけ、コンビニの利用目的・長所・短所について予想させる。

発話例

前の時間ではコンビニについて勉強しました。皆さんはコンビニを利用したことがありますか。どんな目的でコンビニに来る人が多いのでしょうか。それから、コンビニの長所は何でしょうか。コンビニの短所は何でしょうか。少し考えてみてください。そして発表してください。

発話例

- 雑誌を買うために、コンビニを利用する人が多いと思います。
 - コンビニの長所は、商品の種類が多いところだと思います。
- 教師は生徒の発言内容を板書し、さらに次のように述べてから付録「グラフで見るコンビニ」のコピーを配付し読解活動に入る。

発話例

色々な意見が出ましたね。今日は日本で行われたコンビニに関する調

2. 読解活動

- 生徒のレベルに合わせて「語彙・表現」で意味を確認する。
- 表を見ながら付録のタスクを完成させる。
- 調査結果を見て次の4点についてクラスメートと意見交換する。
 - ① 予想と同じだった点
 - ② 予想と違っていた点
 - ③ 意外な点/驚いた点
 - ④ 疑問に思った点

発話例

● わたしはコンビニの利用目的は「商品を買うこと」が多いと思っています

ました。調査の結果は予想通り「商品の購入」が一番でしたが、「トイレの利用」も多かったことは意外な点です。

- ・コンビニには2500種類も商品があるのに、調査結果には、短所として「ほしい商品が少ない」という意見が多いのは不思議です。

ヒント

意見を発表する時に、意外な点や驚いた点などを述べるだけでなく、利用目的／長所／短所として挙げられた理由についても推測させるように指導する。「理由」を考えることにより、コンビニを通して現代日本の状況についての興味・関心を高めることにつながる。

3. 調べ活動

- (1) 学校の周りや住んでいる地域にコンビニがあるかどうか、またコンビニのほかにどんな店が身近にあるかを話し合い、それらを生徒に発表させる。教師は板書していく。

例：果物屋、酒屋、タバコ屋、CD屋、洋服屋、本屋、市場、デパート

- (2) 4～5人のグループに分かれる。
- (3) グループでどの小売業者に行くかを決めさせる。
- (4) 選んだ小売業者を理解するために、どんな項目を調べるかを考えさせる。教師側が数項目をあらかじめ用意しておいてもよいし、生徒たちの興味に合わせて自主的に考えさせても良い。調査の方法は観察とインタビューによって行わせる。

調査項目例

- ①店の名前
 - ②店員の人数
 - ③営業時間
 - ④扱っている商品
 - ⑤よく売れる商品は何か
 - ⑥季節によってよく売れる商品に違いがあるか。
 - ⑦売り上げを伸ばすための工夫
 - ⑧仕事をする上でうれしい時ややりがいを感じるのはどんな時か。
 - ⑨仕事をする上で大変なことや辛いと感じるのはどんな時か。
- (5) 土日や授業後を利用してグループごとに実際に小売業者を訪れて調査活動を行わせる。
 - (6) 調査をして分かったことや、調査をした感想、日本のコンビニとの類似点・相違点について例のようにまとめさせる。

例

| | 日本のコンビニ | ひだまり市場の果物屋 |
|-----|--|---|
| 類似点 | <ul style="list-style-type: none"> ・季節によって商品が変わる (今はスイカとメロンがたくさん店に並んでいた。) ・よく売れるような工夫をしている。 (果物屋では果物の色が濃い部分を見えるようにしている。) | |
| 相違点 | <ul style="list-style-type: none"> ・24時間営業 ・商品の種類が豊富 ・値段が決まっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝8時から夕方5時まで ・果物しか売っていない ・値段は一応決まっているが、値切ることができる。 ・試食することができる。 |

- (7) (6) でまとめた内容をグループごとに発表する。その際、発表内容を模造紙に書いたり、実際に商品を見せたりして、視覚的に分かりやすい工夫をするよう指導する。発表後は質疑応答を行ったり、調査や発表の良かった点などについて生徒同士で相互評価させる。コンビニの性質と著しく異なる店について調査した場合は、グループ同士の共通点・相違点を比較させても良い。

ヒント

生徒の参加意欲を高めるために、コンビニについてよく理解した後で活動を行うようにする。日本のコンビニと比較することにより、コンビニとの相違点・類似点が明確になり、さらに日本のコンビニや調べた小売業者について深い理解を促すことができる。発表ではできるだけ日本語の使用を心がけるように促す。

● 発展活動：私のコンビニへようこそ

1. どんな商品やサービスを扱うかを定める

最近流行っているものやよく買っているものがないかグループで話し合う。そして、新しいコンビニで扱う商品とサービスについて意見を出し合う。使用する表現

- ・どんなコンビニがいいと思いますか。
- ・どんな商品を売ればいいでしょうか。
- ・～を売ったらどうでしょうか。
- ・どんなサービスがあればいいでしょうか。
- ・～があったらいいと思います。

2. 広告を作る

新しいコンビニについての広告を作る。セールスポイントやお勧めの商品、サービスが分かるように絵や図を取り入れる。

記入する項目の例

- ①店名
- ②場所
- ③営業時間
- ④お勧めの商品やサービスの概要と値段
- ⑤特にお客さんにアピールしたいこと：キャッチフレーズ

3. 発表と評価

出来上がった広告をグループごとに発表し合い、相互評価を行う。発表を聞いた人はどのグループのコンビニに興味を持ったかについて意見を交換する。その時に興味を持った理由を述べたり発表グループに対して疑問点を質問したりする。発表の最後に一番人気のあるコンビニを挙手などで決める。

提示

宣伝したいポイントを消費者に強く印象づけるために、広告ではただらとした長い文章ではなく、短文で箇条書きにするなど、簡潔にまとめるよう指導する。

- ・執筆：杉山亮
- ・略歴：2001～2003年、日本青年海外協力隊員として大連市第一中学で日本語教師を務める。現在、早稲田大学大学院に在学している。

本次教学活动的主题是“便利店”。教学设计中分别介绍了猜谜、分析图表、采访、广告制作等课堂教学活动。在开展这些活动的过程中应注意以下几点。

首先，就语言学习目标里的“让学生用日语说明事物的位置”一项而言，在指导“场所表达形式”时需注意以下几点：表示场所的词汇有很多，其中有些词汇意思相近，但又不完全相同。例如，“～の近く”和“～のそば”以及“～の横”和“～の隣”。前一组的“～の近く”比“～のそば”指示的范围要广，后一组的“～の横”可指示不同类事物，而“～の隣”则仅限于指示同类事物。教师本身必须准确理解这些用法的区别（有关内容详见国际文化交流中心编《漢語話者のためのわかりやすい日本語シリーズ③ 類義表現の使い分け》）。

其次，在“确认学生对材料内容的理解程度”时，教师需注意辨清学习材料中所提及的社会文化现象是日中两国共有的、还是日本特有的。如果是日本特有的文化现象，可根据需要适当加以说明，但要浅显易懂。为此，教师应事先进行充分准备。例如，“便利店的应季商品及服务”的部分中介绍的“正月”及“贺年卡”都是日中两国共有的传统活动和和文化习惯（虽然有庆祝新历正月和旧历正月之分）。而“おせち料理”是日本特有的传统菜肴，“お中元”是在夏季将要来临的一段特定期间（中元节），向关照和帮助过自己的人所赠送的礼物，这似乎也是日本特有的文化习惯。在讨论这些话题的时候，如果事先准备一些直观易懂的辅助教材，上课时灵活运用，对激发学生的兴趣会大有效果。（国际文化交流中心图片库网页 <http://photodatabank.tjf.or.jp/> 以及国际交流基金日语中心「みんなの教材」的网页 <http://momiji.jpf.go.jp/kyozai/index.php> 上面都有相关的素材可供参考和利用）。

最后，在“采访附近商店”时，教师应该指导学生在争取社区的配合时需要注意的基本礼仪。事先抽出足够的时间与采访对象取得联系，对采访目的和内容及是否录音等采访形式、以及采访时间（尽量避开对方比较忙碌的时间段）等进行详细说明，以便取得对方的协助。采访结束后，首先当面致谢，日后再发出感谢信，感谢对方的配合与协助。

山口敏幸

国际交流基金海外派遣日本語教育专家

◆「となり」と「よこ」

〔Aのとなり／よこにBがあります〕表示B并列在A的右侧或左侧。也可以分别用〔右となり／右よこ〕〔左となり／左よこ〕的表达形式。这种场合下，〔となり〕和〔よこ〕的意思基本相同（例1）。

〔となり〕只能用于A和B具备同样性质的场合。而A和B不具备同样性质的场合应该用〔よこ〕（例2）。〔となり〕常用于表示住宅或建筑物的位置（例3）。但是如例3，从地图上的平面角度来看银行和邮局的位置时，也可以使用〔よこ〕。此外，把自己的家作为中心，说明左右侧的住户时，用〔隣の家〕。称左右邻居为〔お隣〕〔お隣さん〕（例4）。例4的意思是从邻居那里得到了蔬菜。另外也可以把这个“邻居”的意思延伸为〔隣の町〕〔隣の国〕等。

〔よこ〕还可以表示侧面的位置（例5）。这种场合不能用〔となり〕。如例5的意思是把挂历挂在了书架的侧面。

例1：自分の席の横／隣の机の上にかばんを置いてください。

例2：ポストの横に自転車を止めました。（誤：隣）

例3：銀行の隣に郵便局があります。

例4：お隣から野菜をもらいました。（誤：横）

例5：本棚の横にカレンダーを掛けました。（誤：隣）

◆「そば」と「ちかく」

〔そば／ちかく〕都表示把一个点作为中心时，这个点四周的空间位置。因此和〔よこ〕〔となり〕的用法不同，〔Aのそば／ちかくにBがあります〕中的A和B的位置关系不一定相邻，两者之间可以有其他事物存在。这种场合的〔そば〕和〔ちかく〕的意思基本相同。但是相对来说，〔ちかく〕比〔そば〕所指的空间范围更广一些。如例6给人的感觉是到了离家只有几分钟路的地方，例7给人的感觉是到了家所在的地区或离家最近的车站等地方。此外，〔そば〕常用于日常会话。

例6：あなたの家のそばまで行ったのだけれど、急いでいたので、寄りませんでした。

例7：あなたの家の近くまで行ったのだけれど、急いでいたので、寄りませんでした。

摘录于《類義表現の使い分け》

日语教学中提倡开展任务型练习活动

《日语课程标准》提倡，在外语教学中要大力开展任务型的交际性练习活动，这是外语教育理念的根本变革，体现了外语教育的进步，突出了语言工具性的基本特征。

从经验教训和日语教学的实效来看，围绕话题完成交际性的任务是提高学生素养和运用日语综合能力的一项主要练习活动。日语教学中的所谓“任务型的交际性练习”是指在日常生活中运用日语做好一件或者若干件事情（买东西、问路、看病、访友等）；传达和了解信息、沟通感情，维持良好的人际关系。其基本理念是：在一定的语境下，利用规范的语言材料，培养真实的交际能力；其基本特点是在执行任务的过程中进行对话式的互动，这种互动具有强烈的动态效果。换言之，“任务型的交际性练习”就是根据日语学习的要求，在交际中完成“主题活动”。

交际在形式上可以分成书面交际和口语交际。任务型的交际性练习强调口语交际，交际活动形式多样，如打电话、参加讨论会、

听报告、讲演等。大部分活动是通过面对面的形式呈现的。另外，活动时时有情境，活动中的角色会依据交际的需要自然互换。从初高中学生的心理来看，这种练习活动能刺激学生自主地学习的欲望，能使学生得到极大的满足感。因此，日语教育、教学中特别要注意把口头语言的交际能力训练放在第一位，让学生学会简单的“听话”和“说话”的技能。没有这种基本的技能，将无法顺利开展得体、和谐的交际活动。

最后我想补充的是，“听话”和“说话”这两种基本技能的训练既是外语教育的任务，也是本民族语言教育的任务。两者有着相互促进的关系。因此，任何一个日语教师都应该在注意提高自身的日语和母语的听说能力的前提下，去训练学生多“听话”、勤“说话”。

张国强

中国教育学会外语教学专业委员会 秘书长、日语部部长